

CLCからしだね書店便り

2025 July **7**
no.55



* 今月のご案内 *

① 連載「歴史と対話し歴史に学ぶ」第7回

② 読書感想本

『自分を解き放つセルフ・コンパッション』

ちょっと早めの 不完全な「私」が「私たちのため」に立ち上がる力

③ わたしの遺言 第二回

株式会社ヨベル 代表・出版ディレクター 安田 正人氏

④ いのちのことは社 オリーブス おすすめ情報

CLCからしだね書店では…

- ① キリスト教書だけでなく、福祉、心理、精神、哲学、児童書、その他一般の良書もそろえています。
- ② お洒落 でかわいい 雑貨や小物もあります。
- ③ ブックカフェとして、ドリンクやスイーツ、ランチも提供しています。ゆっくり本を読みながら、お過ごしください。
- ④ コーヒーを飲みにきてくださるだけでもけっこうです。ドリンクを片手に、本をお楽しみください。
- ⑤ 古書のコーナーもあります。ほりだしものあります。
- ⑥ 読書会や著者を招いての講演会など、人と人との出会い、つながる「対話」の場を提供します。



CLCからしだね書店 & カフェ トライアングル

営業時間 11:00-17:00
定休日 日曜日と年末年始（※祝日も営業）
毎月第3木曜日は書店のみ営業

連載第七回
親鸞と基督教の相違

森下有一(高一)...

おじさん、誕生日おめでとうございませう。今年は閏年ではないので、一日早くのお祝いですか。(笑)

山田はじめ(三六才)...

若い時は、誕生日が自分の存在の軽さ・薄さの象徴のようでした。今は、四年に一度しか年を取らないから(笑)、喜んでいきます。僕は有ちゃんより若いですからね。(笑)

有...

おじさんにもそんなユーモアのセンスがあるんですね。(笑) い)ところで以前親鸞やルターについておじさんからメールを頂いてから随分と時間が経ってしまいました。今日は何故親鸞ではなく基督教を信じるかを、じっくり聞かせて下さい。

はじめ...

前にも書いたように、親鸞と出会ったのは高校生の時、その魂の叫びに惹きつけられたからです。そして、「如来よりたまわたりたる信心」という言葉は衝撃的でした。

有...

その続きを是非聞きたいです。この前はルターと親鸞の共通点についてお聞きしました。今日は特に違いについて、聞かせてください。

はじめ...

親鸞をもっとも熱心に読んだのは、卒論を書いている頃です。ルターと親鸞の死生観の比較のようなテーマに取り組んでいました。



はじめ...

ええ、その通りです。しかし、逆にそこに最も違いがあります。イエスは実際に存在した人です。私たちの救いのために何をされたのかも、聖書は明確に語っています。イエスは非常に魅力的な歴史的人物です。しかし、法蔵菩薩が具体的に何をされたのかは、よく分かりません。いつ生まれたのかも、はっきりとはしません。法蔵菩薩には個性を感じられないのです。親鸞の信心の基礎は、この法蔵菩薩が阿弥陀如来となったという点にあります。

有...

救いの根拠としては歴史性を欠き、あやふやな感じがしますが、はじめ...

恐らく発想の違いがあるのだと思います。基督教は、私たちの具体的な歴史のなかに、神の働きを見ようとしています。一方、親鸞、そしてインドの思想は、究極的に歴史ではなく「悟り」に基礎を置いているような気がします。そもそも親鸞が最も大切に考える『無量寿経』は、釈迦が悟りの優れた境地にあったときに語ったものだという設定です。そこで語られている、法蔵菩薩が阿弥陀如来になって救いに道を開いたということの真実性は、釈迦の悟りの真実性にかかっています。

一方基督教は、歴史的に存在したイエスによる身代わりの死によってもたらされる「救い」が核になっていると思います。究極的には親鸞の信仰は悟りの宗教であり、基督教は救いの宗教だというのが僕のその時の結論でした。

大学では指導教授から親鸞の名著『教行信証』を読むように言われていました。その頃通っていた教会で『歎異抄』を読む機会があって、そこにも参加していました。一条ずつ語句の説明から始まって講師の解説が一通り終わると、参加者全員のフリートークでした。教会でやっているものの、何でも言える雰囲気だったので僕にはよかったですね。クリスチャンでない人もたくさんいて、退職後大学院で親鸞を研究している人も来ていました。

有...

おじさんのことは母から時々聞いているのですが、その頃のことば母もあまり知らないようですね。

はじめ...

あれから随分と経ったので、詳しいことは忘れしました。今思い出せることを書くことにします。あくまで「私にとっての親鸞」です。二つだけ記します。

まず感じたのは、親鸞や仏教の非歴史的な性格です。親鸞は『無量寿経』という経典を最も重視しています。それによると、歴史の遙か彼方、法蔵菩薩という人がすべての人々に救いをもたらすために、四八の願をたてた。その成就のため幾劫にもわたる多くの歲月をついやして、たいへんな修行を続けた。そして遂にその願を成し遂げ、法蔵菩薩は阿弥陀如来となって西方に極楽浄土を打ち立て、人々を救っている。この点が親鸞の信仰の土台となっています。

有...

法蔵菩薩は、何かイエスに似ているような気がしますね。

有...

親鸞は救いを説かないのですか。

はじめ...

これがもう一つの違いと関わってきます。読書会に出て、親鸞や仏教では悪がもたらす「苦」が中心問題であるのに対して、ルターや基督教では悪に対する自己の責任である「罪」が中心問題ではないか、と考えるようになりました。これは輪廻思想と関連します。

有...

輪廻という、人は死ぬ度に生まれかわり、前世の悪が次の生において因果となって現れる、という考えですか。

はじめ...

仏教では因果応報により、人道、天道、地獄、餓鬼道、畜生道、阿修羅道を際限なく繰り返すと考えます。仏教にとって救済はこの輪廻から解放されることです。親鸞の場合西方浄土です。この輪廻思想は親鸞に二つの影響を与えていると思います。

親鸞は、「いづれの行もおよびがたき身」なので、「地獄に墜ちるのは必定だ」と語っていますが、この「いづれの行もおよびがたき身」とは、現世における個々の罪悪をさすのではなく、過去の輪廻の変転の中で繰り返され、増幅されてきた自己の悪の有りよう全体をさして、基督教の原罪と似通っています。

一方、輪廻思想は悪に対する自己の責任を希薄にする面があります。生まれ変わるたびにその人の記憶はリセットされるので、過去の悪がもたらすと考えられる苦しみは意識されるものの、



前回ルターと親鸞の共通点が話題になりました。今回は両者の相違がテーマです。



その悪をなした自己の責任は曖昧にならざるを得ないと思います。「悪がもたらす苦しみ意識」と、悪の責任が厳しく問われる「罪意識」とは、かなり重なる部分があるにも関わらず、区別しなければならぬと思います。

有一..
悪の意識と罪意識との違いが、赦しの問題と関わるのですか。
はじめ..

有ちゃん、鋭いですね。罪はその主体が責任を取れない時、そこからの解放は赦されることによってしかなされえないと思います。そして、赦しのためには贖い、しかも責任を問われる者以外の身代わりの贖いが必要だというのがキリスト教の考えです。赦しをもちたため身代わりの贖いをしたのがキリストです。

一方、輪廻思想により悪の主体の責任が曖昧になるとき、必ずしも贖いが必要ではなく、救いは広く「苦」からの解放という方向に向かいます。仏教や親鸞はこの方向にあると思います。そっだとすれば、法蔵菩薩にキリストの贖いの行為のようなものを求める必要はないわけですね。このため法蔵菩薩の曖昧な存在は気にならないのではないかと、というのが僕の考えです。

はじめ..

最後に、まとめておきます。

① ルターと親鸞は自己の罪業を徹底的に見つめ、そのためそこからの救済は徹底した他力、恩寵によるしかない、と考えた点で共通する。



おじさん、ありがとうございます。じっくり考えてみます。やはり中心はキリストですね。入学祝いにいただいたパスカル『パンセ』をだいたい読み終わりました。そこでも、キリストが中心になっていました。今度、『パンセ』をめくって、おじさんにいろいろ質問をしたいと思います。よろしく。

(続く)

中谷博幸(なかつたひろゆき)

主1953年奈良県生まれ。香川大学名誉教授。主な研究対象はヨーロッパ文化史、特にドイツ近世キリスト教文化。



不完全な「私」が「私たちのため」に立ち上がる力

『自分を解き放つセルフ・コンパッション』

クリスティン・ネフ(著)、木蔵シャフエ君子(監訳)、湊麻里(訳)
(英治出版) 2,640円(税込)



5月号の「読書感想本」欄ではガンディーの「非暴力という闘い」に言及しつつ、「自分の信じる真実を守るために、定められた行爲を行え」という『バガヴァッド・ギーター』のメッセージを紹介しました。この世界では、守られるべき権利や道理が、欲望や自己防衛といった動機によってないがしろにされる事態がいたるところで起きています。ガンディーは、このような「真実を否定するもの」に対しては「無抵抗」ではなく「非暴力」という積極的な行爲による応答・抵抗が必要だと考えていました(「勇者の非暴力」)。おそらく彼の中では、「理念に基づく義務」に対する感受性が強く働いていました。

しかしそんな理想主義的な生き方は、同時に自分に対する非常に厳しい見方を強いるものにもなりかねません。自分の信念や価値観に悖ることを行ったり、見て見ぬふりをしたり、定められた義務から逃げるのが「罪」や「恥」であるならば、私たちはお

そらく一生自分を恥じて生きていかなければなりません。人間は不完全なのです。そしてそのような厳しさによる自己批判に耐えられなくなるとその反動として、「人間なんてそんなもの」「人は皆罪人だ」といった開き直りが生じ、結果的に暴力に対する無責任な態度を生み出すことになります。シニシズムや開き直りは避けたいですが、ただ厳しい基準で自分を断罪することが、人に持続的な行動を促す動機になるとも思えません。

そんなことを考えているときに、たまたま読んで教えられるところがあったのが、『自分を解き放つセルフ・コンパッション』という本です。著者のクリスティン・ネフは、仏教的瞑想やマインドフルネスなどをもとにした「セルフ・コンパッション」という概念・技法を普及させた心理学者です。

セルフ・コンパッションは、「自分への思いやり・気遣い」を意

味します。一般的には『ありのまま』の自分を認め、思いやることによって厳しい自己評価を手放し、ストレスを緩和し、自己肯定感を高める技法・考え方』というように理解されていると思います。だとすれば、確かにセルフ・コンパッションは、他者からの評価や生産性といった基準を内面化しがちな現代人のメンタルヘルスにとって有用だと思えます。

他方で私は、セルフ・コンパッションそのものというよりは、それにつわるイメージや連想（ありのままの自分を受け入れる」「傷ついた自分に寄り添う」など）から漂う情緒的な雰囲気、どこか偽善的なものを感じていました。もっ少し具体的に言つと、「ありのまま」という言葉をおまじないのように使用することは、現に不当な扱いを受けている人が、その状況をささへ「ありのまま」を受け入れることを可能にし、その人の暴力に対する抵抗力を奪うことになるのではないか。あるいは身近に生じている不正や暴力に対して何もしない自分を許す口実になってしまつのではないか、という疑問です。この疑問が正しいとすれば、「ありのまま」という一見優しい言葉は、暴力や不正を容認する方向で作用しうることとなります。

実際、著者によると、セルフ・コンパッションやマインドフルネスに対する同様の懸念や批判はよくあるのだそうです。「**マイン**

ません。

しかし、セルフ・コンパッションに基づく強さは、そのようなものではありません。それは、「人間は皆不完全であり、それにも関わらず尊重に値する」という基本的な信念に裏付けられたものです。著者はこの信念を「**共通の人間性**」（49頁）と表現します。この点が、セルフ・コンパッションが単なる理想主義とは違つところではあります。

セルフ・コンパッションは、不正や暴力によって生じた「自分の苦しみ」を、「二人の人間の苦しみ」として相対化します。そのことによって、苦しみを通して同じ苦しみを味わう自分以外の多くの人のつながりの感覚を持つこととなります。同時に、私を含んだすべての人は、不完全でありながら「尊重に値する」という確信が、不正や暴力に対して具体的な行動に踏み出す力を与えます。著者は「共通した人間性」に基づいたエンパワメントの最近の例として「**#MeToo運動**」や「**BLM運動**」などを挙げています。これらの背後にあったのは、「**私は自分のために立ち上がることで、みんなのために立ち上がる**」（24頁）という「共通の人間性」に根差す感覚です。

私たちが、理想に基づく（しばしば独りよがりになりがちな）義務感からではなく、ただ「**意識を持つ全ての存在は生来、人道**

ドフルネスの台頭は、困難に対する反応として、受容と内なる平和の発見を重視しているという理由で」批判されてきたと言います。『深呼吸の方法を学べばあなたの問題は全て解決される』と言わんばかりに、ストレスは個人の病理であるというイデオロギーを売るのがマインドフルネス運動だ」「マインドフルネスのメッセージは、資本主義を搾取的ではなくより公平なシステムに改革するという難しい課題から注意を逸らすものだ」という批判です（28頁）。

しかし著者が本書で訴えるのは、女性による権利主張や被害の訴えが抑圧されるような社会において、連帯して「自らの力を主張して行動を起こす」ために、「勇猛さと優しさを兼ね備えたセルフ・コンパッションは全ての人に役立つものであり、性差別、人種差別、同性愛者差別、障害者差別などの迫害と闘う鍵になる」ということです（31・33頁）。

では著者の言う「**勇猛さと優しさを兼ね備えたセルフ・コンパッション**」とは何でしょうか。もしそれが問題状況にだけ目を向け、否定するだけの理想主義だとすれば、先ほども述べたように、それは「罪」や「恥」の感覚を植え付け、人を絶えることのない自己否定へと駆り立てるかもしれません。あるいはいたずらに党派性を強め、基準を満たさない人への攻撃性へと転化するかもしれ

的な扱いを受けるにふさわしい存在である」（50頁）という信念から行動するためには、「一人ひとりが他にない歴史を持つ、唯一無二の存在であるがゆえの特別な美しさ」（463頁）を持っているという視点を、まず私たち自身に向けることが必要です。そうすればいたずらに自分を断罪したり、失敗を恐れたりすることなく「**勇氣と自信を持ったクリアな状態**」で「**私（たち）の苦しみを和らげるには何が必要か？**」というシンブルで究極的な課題に集中して行動を始めることができます（68・69頁）。

このように、セルフ・コンパッションは、人々の行動の動機を「罪」や「恥」の意識から「共通の人間性」という信念へと変化させる可能性があります。そのような変化は、人々の行動に持続的な変化をもたらすでしょう。その意味で、セルフ・コンパッションは、個人のメンタルヘルスの問題にとどまらず、「**小さな、しかし確実な社会改革**」（監訳者による序文）としての意味を持つのです。

【書店員G】

ちよつと早めの

わたしの遺言



書店の役割はたくさんありますが、そのひとつが、だれかの「生きる」に寄り添うこと。私たちは、この世に生まれて、生きて、そして死にます。実感として理解し体感できるのは、この「生まれて、生きて、死ぬ」短い時間の中のことだけです。

人生の旅の途上にいる私が、旅を終えた後のことを、少しだけ意識して、今、想うことを書いてみよう、というのがこの企画です。

「遺言」を書いた人は、今を生きる自分が、何を大切にしているのが、見えてくるかもしれませんし、それを読んだ人は、自分が何を大切にしているのか、考えるきっかけになるかもしれません。

お二人目はキリスト教出版社ヨベルの安田社長です。



「私が遺したいこと」

株式会社ヨベル 代表・出版ディレクター 安田正人

「ちよつと早い遺言」との担当の方からの課題に、当惑しながら、やはり「キリスト教出版」への思いが「遺す言葉」なのではないかと思っています。1970年代に日本キリスト教団出版局に入局し、その年の梅雨の時期に「出版販売協会新人研修会」が3日間にわたって行われ、全国の書店員の方々も含めて30名前後の新人が参加しました。そこでは「文書伝道」という基本姿勢と考えを教えていただいたように思います。その後、研修会に参加した有志で自発的な学び会を新教出版社の秋山憲兄さんらに講師をお願いして不定期でしたが続けました。それ以降も個人的には教えを請うてきたことを思い出します。これまでに培ってきたことが現在の出版姿勢の基盤になっていることは間違いありません。読者であるあなたの持っている本はそういう思いがこもっている中で作られていることに共感・共鳴をしていただくことで、私たちの喜びも生まれ、継続していきける源にも繋がっていくと思います。たいしたことは出来ませんが、後期高齢者の仲間になって深く思うことは、紙媒体の本がすっかり残っていくことがわたしの希望であり、遺す言葉だと思っています。キリスト教の持つ多様性をしっかりと受けとめて。

日に2〜3店舗の書店が閉鎖したり、休業したり、また倒産している。1970年代には25000店舗余の書店数があった。現在、8000店舗余の書店数。地域に書店のない状態が増えている一方、図書館も合併、廃館を余儀なくされているという（全国1741市区町村のうち、書店が1店舗もない自治体が今年3月時点で482町村に増え、全体の27.7%に上ることが出版文化産業振興財団の調査・日経新聞2024.4.28）。キリスト教書店も1970年代には125店舗余、現在は、60店舗余と大きく減少しています。

私は小さな出版社を連れ合いと一緒に生業として日々従事しています。販売出来るお店がないと作っている意味がありません。読者に届かないからです。確かに、通販での売り上げなども伸びていますが、書店の力はそれ以上に私たちを励ましてくださっています。

2025年7月の新商品をご紹介します

DVDドキュメンタリー「神の沈黙」ーキリシタン弾圧と原爆ー

プロテスタント・キリスト者の視点から、長崎のキリシタン弾圧と原爆投下の意味を紐解く映像作品！キリシタン弾圧と原爆投下という歴史上の2つの悲劇に際して、神はなぜ沈黙していたのか？その疑問を音楽宣教師・久米小百合と共に追う、神の沈黙をテーマに制作したドキュメンタリー作品です。

7月7日
発売予定

監修：山口陽一師（東京基督教大学 特任教授）
ナビゲーター：久米小百合 本編83分＋特典映像

49166 ¥4,180 税込



久米小百合



五島列島 福江島 キリシタン墓地



五島列島 若松島 キリシタン洞窟

あなたの街で「神の沈黙ーキリシタン弾圧と原爆の歴史」上映会を行いませんか？

A. 83分版(フルバージョン)上映 上映費用：1回 30,000円(税別)

- ・DVDを購入していただき上映します。ブルーレイ版での上映を希望される場合は、ご相談ください。
- ・主催者様(上映会を行う教会・団体)で機材(プロジェクター、再生デッキ、音響、スクリーン等)の準備が必要です。

B. 40分版(ダイジェスト)上映＋トークショー 費用：派遣者の交通費、宿泊費等実費。自由献金など

- ・プログラム例
- ・40分版の上映後、20分のトークショー(内容はご相談の上決定…久米小百合、原案者等の派遣も可能)
- ・テーマソング「この世のなみかぜざわが」の賛美
- ・主催者様(上映会を行う教会・団体)で機材(プロジェクター、再生デッキ、音響、スクリーン等)の準備が必要です。

応相談・お問合せ下さい

問合せ：ライフ・クリエーション Tel.03-5341-6927 Fax.03-5341-6928 harashima_m@main.wlpm.or.jp

夏にピッタリな新商品のご紹介！

星野富弘 A4クリアファイル



星野富弘
クリアファイル

各裏面に英訳詩入り 各 ¥330 税込

推し point

以前から要望があった星野富弘さんのA4クリアファイルを初めて作ることができました！みなさんに人気の(デザイン担当としてもおすすめの)詩画を選びました。詩画の魅力を最大限活かせるよう極力シンプルに作りしました。

デザイナー Nより



約束の虹そうめん



カラフルな虹をイメージした三輪そうめんです。ノアの箱舟の木箱に入っていて、開けたときのカラフルな色合いにときめきます！



推し point

寛永3年(1850年)から170年あまり続く老舗池利さんとコラボしたそうめんです。合成着色料ではない色、それぞれに味の風味もついていて美味しいです！ギフトでもらった方が開けたときに「綺麗〜♡」と感動してくれること間違いなし。これからの季節にピッタリのギフトです。

制作担当 Sより



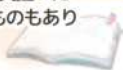
梅 桜 柚子 桃 水蜜桃 抹茶 青しそ 紫芋

ノアの箱舟の約束の虹のストーリーの解説と聖句のみことばの入ったミニカード入りです。

50540 ¥2,592 税込

古書献本のお願い

たいへん申し訳ございませんが、送料をご負担いただくとありがたいです。(受付できないものもありますので事前にお知らせください。)



【献本をお願いしたい本の種類】

- 1 キリスト教書、キリスト教に関連した本(多少、書き込み等があっても、大丈夫です)
- 2 哲学、心理学等、人の生き方に関する本
- 3 社会の中で起きている問題を扱った本
- 4 暮らし(料理、健康、経済等)にかかわる本
- 5 小説(人の暮らし、尊厳、生き方を表現したものであればジャンルを問いません)
- 6 漫画(人の暮らし、尊厳、生き方を表現したものであればジャンルを問いません)

百科事典・辞書・開封済みのCD・DVD・月刊誌・週刊誌、自分史・教会の記念誌などは受け付けておりません

【本の送り先】

住所：〒607-8216 京都市山科区勤修寺東出町75 からしだね館

宛先：CLC からしだね書店 献本係 電話：075-574-1001 FAX：075-574-0025

Mail：clc@karashidane.or.jp

【本と一緒に以下の内容を記入したメモをお願いします】

①献本者のお名前②ご住所③お電話番号④メールアドレス⑤さしつかえなければ、献本者の簡単なプロフィールをお願いします。

【献本感謝】

井筒桂子様、真鍋里加様、大津清一郎様、林雅美様(順不同)

5月の古書の収益は 42,750 円でした。

【古本の売上を含む CLC からしだね書店の収益は、書店で働く障がい者の工賃になります】

献本くださった方のお名前を書店便りにご紹介させていただきたいと思います。匿名ご希望の方は、お知らせください。ご寄贈いただいた皆様、ありがとうございました。

編集後記

◆書店に並ぶグッズや本、聖書などが一様に値上がりし、売る側としても心苦しく思います。暮らしの中でもお米、食料品全般、日用品その他いろいろなものが値上がりし、食べ盛り遊び盛りの子どもさんがいるご家庭は、本当に大変だろうなと思います。◆それに加えて、猛暑！ここ数年、暑さの質が変わってきている…？今まで体験したことがない暑さに、体が一生懸命に対応しようとしているような気がします。◆7月12日(土)のトークイベント「小さな命に寄り添う」は、たくさんのお申込みをいただき、ありがとうございます。どんな講演会だったかは、書店便り8月号で報告したいと思います。◆数年にわたって後遺症が続くこともあるらしい熱中症…どうぞ皆様、くれぐれもご注意ください。【店長】

編集・発行：社会福祉法人ミッションからしだね
就労継続支援B型事業所からしだねワークス
CLCからしだね書店&カフェ・トライアングル

〒607-8216

京都市山科区勤修寺東出町75 からしだね館

書店電話番号

075-574-1001 FAX 075-574-0025

書店メール

clc@karashidane.or.jp



CLCからしだね書店便りの
バックナンバーはこちらから



重い障がいや難病のために
病院に置き去りにされる命があることを、
皆さんは知っていますか？

小さな命に寄り添う

CLC からしだね書店 第5回トークライブ

小さな命に寄り添いながら、親子となって共に生きていこうと決めた
松原さんの思いとこれまでの歩みに耳を傾けたいと思います。



小さな命の帰る家 HP



松原宏樹さんプロフィール

1968年生まれ ○元奈良キリスト教会牧師
○在任中、奈良キリスト教会に附属子ども園『リトルファン
ファン』を設立 ○元リトルファンファン園長 ○元 NPO
みぎわ理事 ○小さな命の帰る家代表

講 師 『小さな命の帰る家』
代表 松原宏樹さん
参加費 無料 ただし、自由献金あります
申込締め切り 2025年 7月5日
申込問合せ 社会福祉法人ミッシンからしだね
☎ 075-574-2800

申し込みページ



オンラインでも配信しますので、お申込みください
オンライン併用 定員30名

2階第2会議室

(バセオダイゴロー西館)

会 場 京都市醍醐交流会館

と き 2025年 7月12日(土)
14:00~15:00